

News and Topics

成田空港周辺市町議会連絡協議会

4市5町で国に要望 国・県などに決議書を提出

7月14日、ANAクラウンプラザホテル成田において総会が開催されました。空港周辺に位置する4市5町の議会議員などが参加し、平成28年度決算や平成29年度予算の認定、会長、副会長及び監事の選任、相談役の選任等が行われました。



また、国に対し「四者協議会において議論されている更なる機能強化に向け最大限の努力をする」とともに、「地域と空港との真の共生・共栄の実現を目指した取り組み」を要望する決議を採択しました。

☆4市5町…成田市・富里市・山武市・香取市・多古町・芝山町・神崎町・横芝光町・栄町

成田国際空港の機能充実と地域の均衡ある振興・発展とともに住民福祉の向上を願い、7月14日に採択した決議書を8月4日に成田国際空港株式会社、8月10日に国土交通省、千葉県空港地域振興課、8月17日に香取警察署へ提出しました。

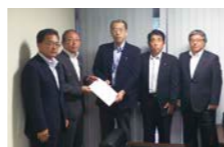
決議書は、1.成田空港の機能拡充について、2.環境対策・地域共生策及び地域振興策について、3.国際線及び国内線航空ネットワークの拡充について、4.アクセス・道路整備について、5.過激派暴力団によるテロ・ゲリラ行為の排除について要望するものです。



成田国際空港(株)



国土交通省



県空港地域振興課



香取警察署

芝山町議会・多古町議会連絡協議会

圏央道の早期完成、休憩施設設置を要望

8月3日、多古町、芝山町の議会正副議長、多古町長、芝山町副町長は国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所長に対して地域住民からの意見をまとめた「意見書」および「圏央道(大栄・横芝間)の早期完成等に関する決議書」を提出しました。そして、今年度から事業着手される圏央道(大栄・横芝間)の建設促進、地域交流拠点との接続が可能となる休憩施設の設置を強く要望しました。



野村 稔氏

監視・提言の充実を

8月29日、芝山町役場を会場に芝山町議会・多古町議会連絡協議会で議会議員研修会が行われました。研修会では、野村稔氏(地方議会研究会代表)による「議会の底力と政務活動」と題した講演が行われ、議会の歴史や現代の地方議会の役割、政務活動費についてなど、活動する上で参考となる研修でした。



☆芝山町議会・多古町議会連絡協議会とは多古町議会と芝山町議会が協力して地域振興を図るとともに、地域住民の生活環境の保全や福祉の向上に努めることを目的として、平成14年度に設立しました。

宮城県加美町議会議員来訪

町民に読まれる広報に

9月27日、宮城県加美町議会議会広報常任委員会の方々が議会広報の編集について視察にみえました。議会広報特別委員会石渡委員長が「多古町議会だより」の編集方針や掲載記事、編集方法等について説明しました。意見交換ではカラーページの使い方や一般質問の掲載方法などについて質問があったほか、加美町の議会広報編集についてもお話を伺うことができました。また、町民に読んでもらうことの難しさを共感し合い、より親しみやすい、読まれる広報にしていこうという気持ちを強くしました。



議会運営委員会

神奈川県箱根町視察

(8/7)

住民の9割が観光業に携わっておられる箱根町。早稲田大学マニフェスト研究所による平成27年度議会改革度調査全国22位(町村の部2位)神奈川県1位。最も進んでいる自治体と評されています。5年の歳月を費やして町議会基本条例を制定し、「議論する議会」「開かれた議会」を日々追及。通年議会とし「月例日」を設置。常に町民のニーズに対応する姿勢で臨み、本会議のほか全ての会議は原則公開、当局の反問権も付与しています。

議会からの情報発信も多岐に渡り、議会報告会・議会関連ポスターを商店等に掲出、フェイスブックなどSNSの活用、毎年全議員による議会改革など取組みにかかる評価の公開等々、住民から選ばれた議員・議会としての職責を果たすべく真摯な姿を学び感銘を受けました。

傍聴者に対しても、PC、スマホ等の持ち込み、撮影可。キッズコーナー・授乳室や湯も備えられ、まさに微に入り細に入り、住民目線で「開かれた議会」の基本方針が貫かれておりました。多古町議会には先人が長い歴史の中で培ってきた「らしさ」があります。一般質問の時間制限を設けない。議員全員で審議する予算・決算委員会等々。住民の声の代弁者としての権利を尊重する特筆すべき点も多々あります。

今後の議会運営に多くの課題が見えた先進地視察でした。
(議会運営委員会副委員長 石渡悦子)



報告会や傍聴人の数なども質問



職責を果たそうとする真摯な姿を学びました

空港対策特別委員会

委員会協議会

(9/12)



様々な取り組みの説明を受ける

委員外議員も参加して、シャトルバスを利用し成田空港へ向かいました。空港では、NAA(成田国際空港会社)職員による「成田空港の現状と取り組み」の説明を受けました。特に運用実績では、前年度比で発着回数1万1千回増の24万6千回、旅客数は168万人増の3962万人、貨物は16万トン減の214万トンになったとのことでした。説明の後、第2ターミナルビルでは「デザイントイレ」および千葉県のミニアンテナショップを、第1ターミナルビルにおいて、トランジットの受付カウンターを兼ねたビジターセンター、「ナリタトラベルラウンジ」を職員の説明を受けながら視察しました。

帰庁後の会議では、航空機騒音測定結果について報告があり、前年度とほぼ同じであるとのことでした。また、芝山鉄道利用者駐車場の利用状況は前年度比826台の減少、移転による影響か今後の状況を見ていきたいとのことでした。

(空港対策特別委員会委員長 鶴澤 茂)



8月から設置された千葉のミニアンテナショップ



第1ターミナル到着階のビジターセンター